

札幌社保協 FAXニュース

2008年 9月8日(月)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後
期高齢者110
番は9月25日
(木)です。

今年こそ「福祉灯油」実施を！



札幌社保協と生活と健康を守る会札幌協議会は4日、市長へ「福祉灯油実施」と、「あったか応援資金の継続・増額・返済の減免」を要請しました。白石区から参加したの80代の女性は「去年は家の中でオーバーを着て寒さに我慢の毎日でした。この年で寒さに耐えるのはきびしいもの」と実情を訴え、福祉灯油実施を要望しました。

市側は、あったか応援資金の継続は必要との考えを示したものの、福祉灯油については「市役所全体で市民生活への対応を考えている所」と述べるにとどまり、態度を明らかにしませんでした。

要望書を市へ渡す、横山
守る会札幌協議会会長

正式な回答を20日までに求めると共に、道生連と社保協では議会陳情の署名を取り
組むことにしました。

障がい者の社会参加を閉ざさないで 障がい者交通費助成削減に反対の宣伝

交通権を考える連絡協議会、障道協などの障害者団体は、6日大通で、札幌市が提案している「障がい者交通費助成の大幅削減」をやめてくださいと訴える宣伝と署名を行いました。

約50人の参加者は次々とマイクを握り、この削減案に反対の気持ちをリレートークで「私たちの通院・通所・社会参加の足を奪うようなことをしないで下さい」と訴え、この日は署名が150筆集まりました。

署名の第2回提出は、8月20日に行われ、4,300筆あまりが市障がい福祉課長に手渡されました。署名はこれで7,202筆になりました。提出には、3人の車いす生活者も参加して、「白紙に戻してほしい」「地域で生活することはとても大切なことなので、制度を変えないでほしい」と口々に訴えました。

障がい福祉課長は、「署名の重みを感じている。社会参加の道を閉ざさないよう、みなさんの意見をしっかりと聞いていきたい」と答えました。



8月28日には知的障がい者・児の当事者・保護者・施設の人々500人が市役所を取り囲み、交通費助成の削減に怒りと抗議の意思を示しました。



↑上：9/7大通での宣伝行動
下：8/28第2回市への署名提出
←左：知的障がい者の抗議行動

憲法25条は守られているか!? 東区社保協が総会

8/29東区社保協の第10回定期総会が開催されました。前半は各団体から、貧困や福祉の削減などの例がリアルに報告されました。

守る会は生活保護世帯の通院交通費が「是正」の名で打ち切られている事例を、新婦人は道生活実態調査で家計の厳しさが明らかになったこと、勤医協在宅は介護労働者の待遇改善と利用者へのサービス抑制の例を、年金者組合は生活相談の事例を、勤医協からは医療費支払いが困難な人が増えている事例、無料低額診療の意味と活用などの報告がありました。

